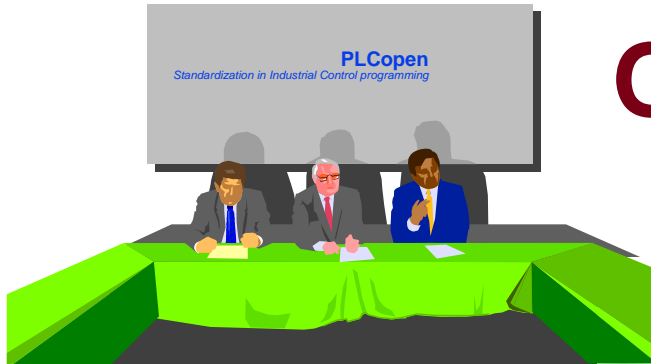


PLCopenの活動紹介

**changing the world
of industrial automation**
世界の工業自動化に変革を

—
現状, 構築ツール, 活動とライブラリ

Organization (組織)



General Meeting, BOM, MD



TECHNICAL (技術委員会)

PROMOTIONAL (普及委員会)

COMMITTEES



TC1: Standards (規格)

- IEC 61131-3は常に修正と改訂が行われている。
- IECに積極的に関与し, その活動に協力する。
- IECからPLCopenに情報を伝達する。
- IECに積極的に提言する。
- 2002年末に照準を。(2003年1月: IEC 61131-3 Ed.2 発行)

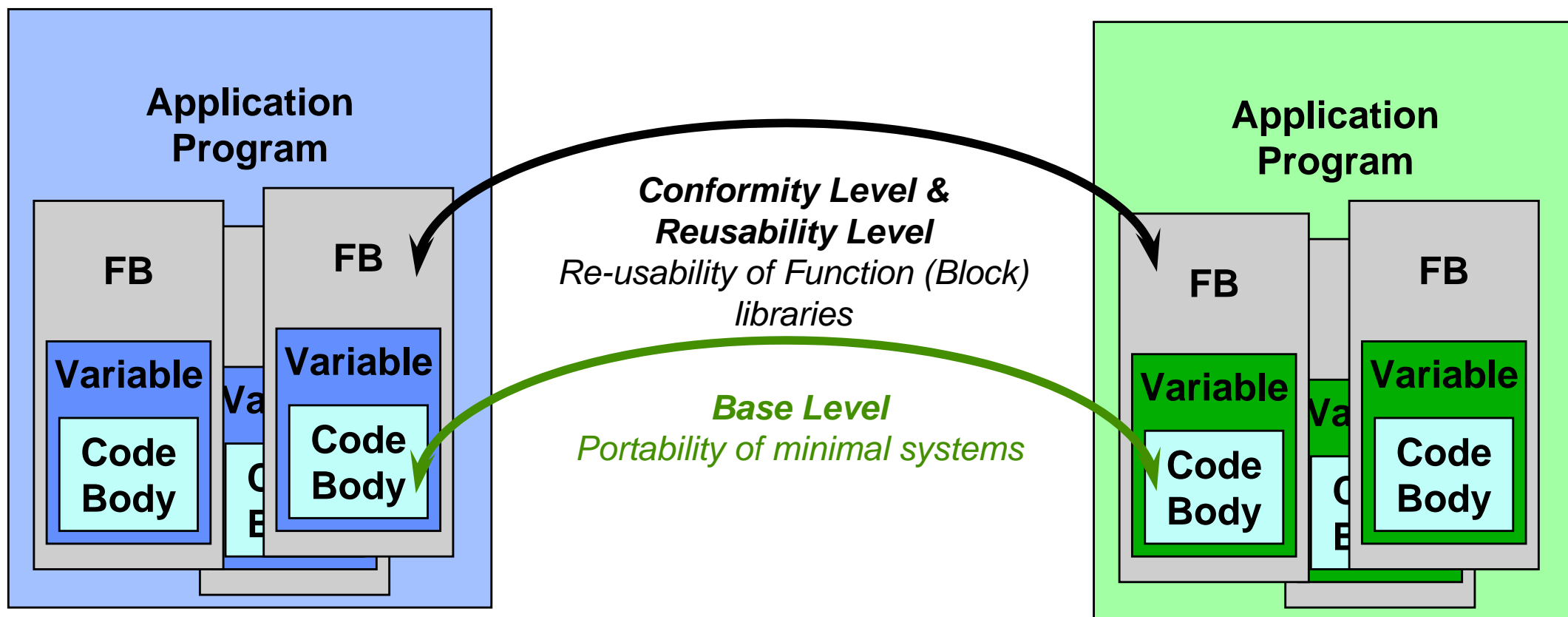
TC2: Functions (関数)

- **ファンクションブロックライブラリ及びその呼び出し方法の定義**
- **... 例...**
- **モーションコントロールライブラリ: ロジックとモーションとの融合**
- **セーフティライブラリ: セーフティの要求される環境に基本を提供**



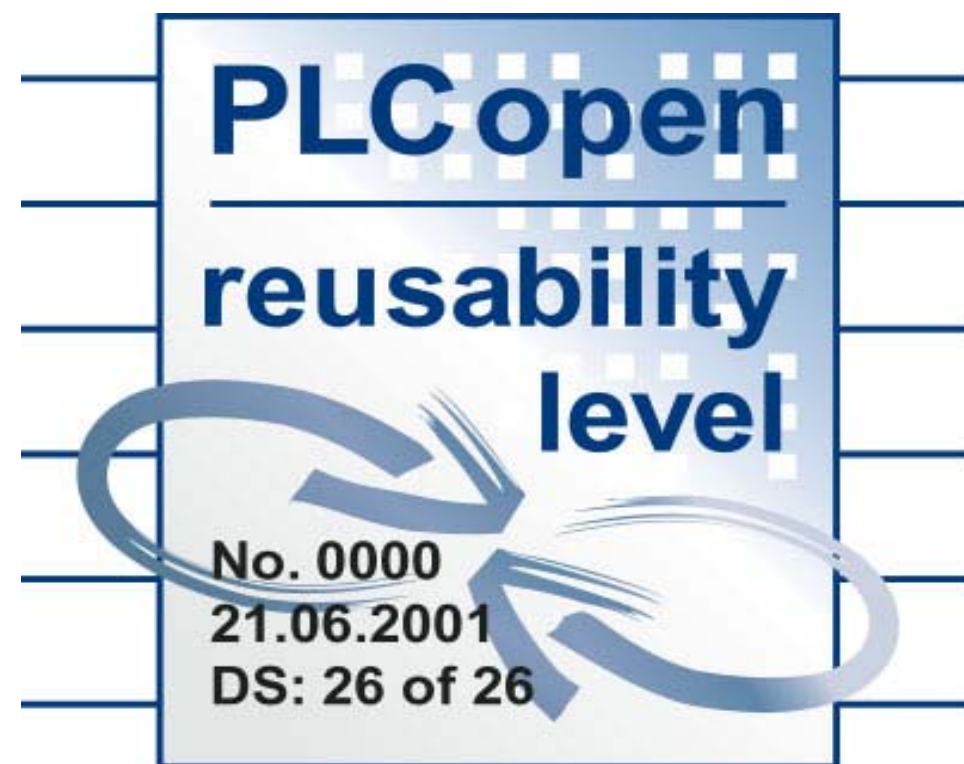
Revolutionizing the industry (産業に変革を)

TC3: PLCopen Compliance Levels (PLCopenの準拠レベル: 基本、適合、再利用)



TC3 - CL and RL for LD

(ラダーダイアグラム: 適合、再利用レベル)



TC4: Communication (通信)

- 通信インターフェース
- アドオンパッケージへのインターフェース
- アプリケーションにおけるファイル交換形式
- プロフィバスへのマッピングは完了
- CANopenへのマッピングは完了

TC5: Safe software guidelines ***(安全ソフトウェアのガイドライン)***

- 安全プログラミング技術への支援
- IEC 61508 “Functional Safety of Safety Related systems”
- IEC規格の使用へのガイドラインの作成
- より簡単な導入のための基準の策定
- ファンクションブロックとの連携
- 2004年4月に最初の結果の提示

TC6: XML

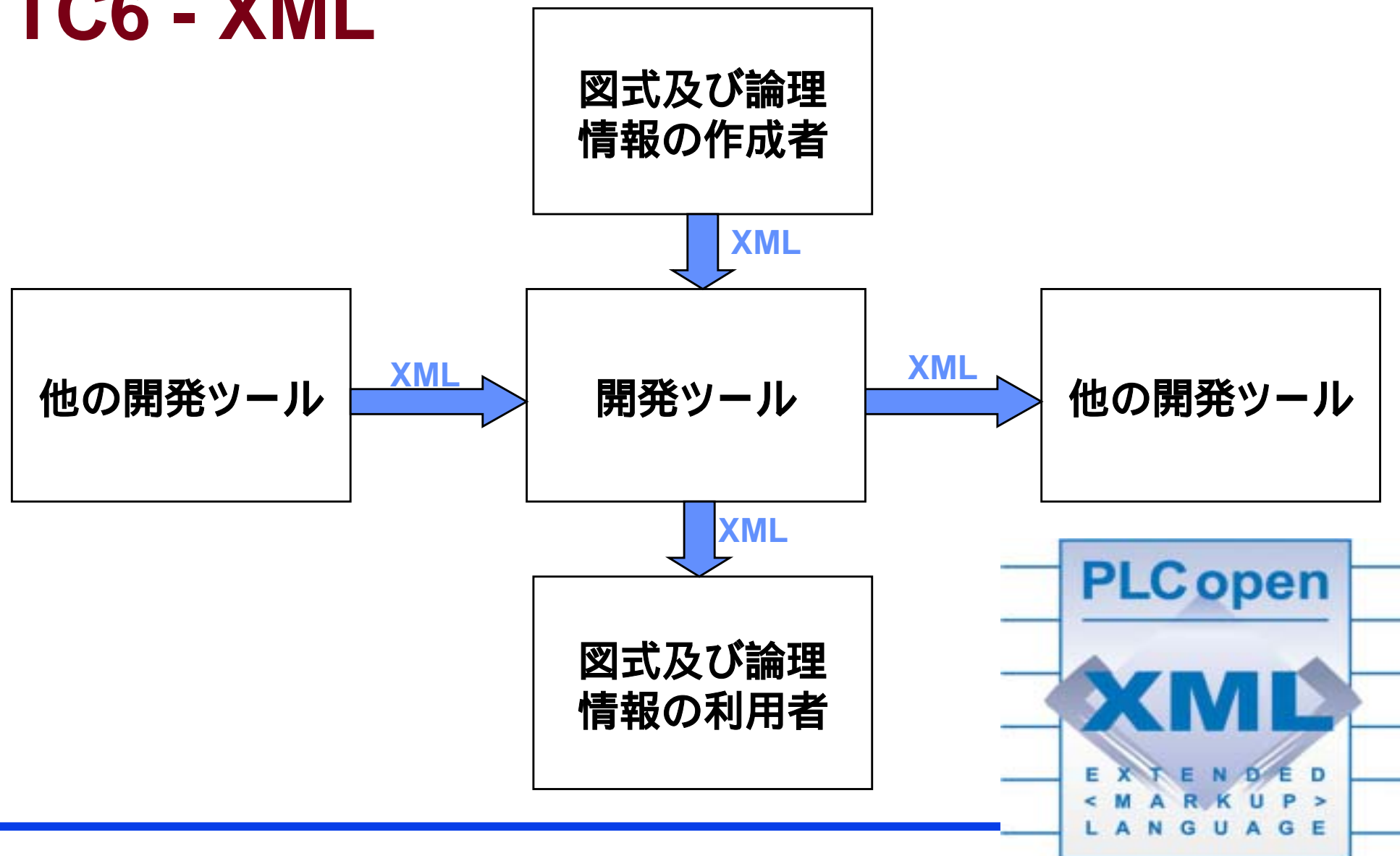
- **すべてのIEC言語のXMLスキーマの定義**
- **図的情報の表現**
- **他のツールへのインターフェース**
- **FBライブラリの分散を可能にする基礎**
- **産業進行中(会員のみ)**
- **結果は公表可能**

PLCopen TC6 – XML

*Opening up the
development environments
by specifying XML formats for
IEC 61131-3
(XMLによる開発環境の構築)*



TC6 - XML



General Promotion **(普及活動)**

- **PC1: General Promotion (全般に関する普及活動)**
- **PC3: Promotion North America (北米における普及活動)**
- **PC4: Promotion Japan (日本における普及活動)**

PC4 - Activities in Japan – Dec. 2002

- Fuji Electric (富士電機),
- Matsushita Electric Works (松下電工),
- Toshiba (東芝),
- Yokogawa Electric (横河電機)

(listed in alphabetical order)

日本市場におけるPLCopen活動の再開を決定

独立機関，神奈川県産業技術総合研究所が参与

PC2: Common training program **(共通訓練プログラム)**

- 訓練は常に軽視される。
- 規格は非常に有用で、理論と実際を結ぶよい接点を提供する。
- PC2は共通の訓練基礎を策定する。
- 例えば： IEC 61131-3 訓練ガイドラインを発行した。
- 基本要件を充実した訓練施設が認証され、掲示される。
(Webサイトで一覧を参照)

日本における活動

- PLCopen Japanの活動の再開
- SCF展示及び講演会を通して組織の紹介
- TC3に連動して、ラダーダイアグラムのテストプログラムの開発
- TC6に連動して、ラダーダイアグラムのXMLスキーマの作成に参加
- 認証試験の準備

テストラボ(候補): 神奈川県産業技術総合研究所